

Rotary



国際ロータリー第2840地区
高崎北ロータリークラブ
DISTRICT 2840 ROTARY CLUB OF TAKASAKI NORTH

北の友愛

クラブ会報 No. 18 2025年4月2日(水) 第2641回例会

題字 秋葉猛 君

2024-2025年度

会 長 大西 勉
幹 事 内藤 賢治
例 会 毎週水曜日 12時30分
例 会 場 ホテルグランビュー高崎

事 務 局 〒370-0815 高崎市柳川町70 ホテルグランビュー高崎
TEL027-330-6060 FAX027-330-6061
E-mail takakita@k1.wind.ne.jp URL http://takakita-rc.org
編 集 公共イメージ委員会
事務局員 横尾 真実

クラブテーマ「Your smile is my smile.」

2024-2025年度 R I テーマ



本日のプログラム

本日のプログラム

会長の日／新会員卓話 青島 真一会員
ロータリーソング 君が代 奉仕の理想

第2639回 例会報告 第2週 3月12日(水)

点鐘 井上 智太直前会長



来訪者紹介 井上 智太直前会長

重田 政信 国際ロータリー元理事 御令室
重田 晴子様

NPO法人 工房あかね

代表 小柏 桂子様

重田晴子様よりご挨拶

皆様お久しぶりでございませ
す。重田政信が長い間お世話
になりまして本当にありがと
うございました。ここへ来る
と自分の家に帰ってきたような気がしていま
すけれども、もう私はロータリアンの家族で
はありませんのでこういうところにも来られ
なくなりますからとても残念です。私はソロ
プチミストなので両方に入ることもできませ
んが、これからも道で会ったら「やあ」と
「おう」をお願いいたします。



実はお葬式の際にいろいろな手違いがご
ざいまして、皆様からたくさんのお心遣いを
いただいたのに十分なことが出来ず大変申し
訳ありませんでした。初めてのことであり
わからないことだらけだったことに加え
て、いろいろな手違いが重なってしまいま
した。お心遣いを頂戴した皆様には御礼をさせ
ていただいたのですが、クラブに対してはど
うしたらよいかと思ひまして、今日はその御
礼の気持ちで伺ひまして、少額ですがニコニ
コボックスも協力させていただきます。

これからも北ロータリークラブが元気にス
クスクと会員も頑張っって100人くらいにし
ていただいてご活躍いただきますことを期待
しています。いろいろとありがとうございました。

ロータリー財団認証バッジ贈呈

井上 智太直前会長

マルチプルポールハリスフェロー 8回目
竹中 隆君



ラッキー賞抽選及び一言卓話 豊泉 洋一君

豊泉洋一君が当選されました。

今日は当たりそうな予感がしていました、とのことでした。



委員会報告

ニコニコボックス報告 S A A

- ◆重田 晴子様（永い間お世話になりました）
- ◆井上 智太君（重田晴子様を歓迎して）
- ◆竹中 隆君（おかげさまでPELSが無事終了しました。これからが本番です！）
- ◆樋口 哲雄君（PELS・SELSが無事終了しました。副幹事諸兄の活躍に感謝します。エレクト特におつかれさまでした）
- ◆小森谷 剛君（竹中ガバナーエレクトの卓話たのしみです）
- ◆大西 勉君（竹中隆ガバナー一年度では地域社会と2840地区会員のSmileがふえますようご期待申し上げます。本日の卓話よろしく申し上げます）
- ◆内藤 賢治君（竹中さん、ガバナー一年度に向けてのご準備、大変おつかれ様です。竹中隆ガバナー一年度の成功に向けて、一生懸命がんばります）
- ◆宮川 秀彦君（橋谷先輩9mm最高）
- ◆串田 洋介君（橋谷先輩の9mm勉強になりました）
- ◆堀込 敏彦君（橋谷先輩のオシャレさに感動しました）
- ◆堀口 晋吾君（橋谷先輩の伝説の9mmカット！！大変勉強になりました！！）
- ◆須永 正儀君（3/8.9 磯部ガーデンにて迷言が生まれました）
- ◆荒井 一樹君（2月結婚記念日祝）
- ◆堤 謙治君（会員章を忘れました）
- ◆井上 幸己君（会員章を忘れました）
- ◆豊泉 洋一君（ラッキー賞）

お楽しみボックス報告 廣瀬 正史君

仏教で諸法無我という言葉があります。私たちは単独では存在できないという意味で、因果という直接の関係と、もうひとつ縁という関係によって、私たちは存在しています。この世はたくさんの網の目が絡み合うように存在しており、因縁因果とそれに付随する環境・状況・事情が絡み合って物事が変わっていきます。良いことをしたからいいことが結果として生まれることを善因善果といい、反対は悪因悪果で、これは直接の因果関係ですが、それだけではなく、縁が絡んですべてが行われるのであり、自分の言ったこと、やったことがすべて全世界、全宇宙につながっていくと仏教では考えます。



合掌はお願いのポーズだと思われがちですが、そうではありません。お願いごとというのは、自分の都合、自分の欲に、人を合わせようとする。これは筋違いで、自分が仏様や神様に合わせていくという気持ちが大事なのです。そうかと思う方はチャリン、いや違うという方はチャリンチャリンチャリンでお願いします。

次は大井田健一君にお願いします。

「NPO法人 工房あかね」の活動について

NPO法人 工房あかね

代表 小柏 桂子様

工房あかね代表の小柏桂子様より、2000年の設立以来、25年のあゆみをまとめたパンフ

レットをもとに活動について紹介いただきました。障害をもつ人たちのアート活動を支援し、アートを通しての社会参加を目指しているそうです。教えるのではなく、いかに持っているものを引き出す環境を用意してあげられるか。ボランティアや寄付なども募っているとのこと。3/20~25の間、ララパークスエヒロにてインクルーシブアートと題した展示会を開催するそうです。



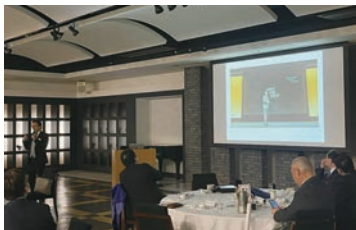
国際協議会ご報告

国際ロータリー第2840地区ガバナーエレクト
竹中 隆君

国際協議会で2025-26年度マリオ会長が発信されたメッセージについて、竹中君が要約した資料をもとに説明いただきました。「Unite for good」「よいこと



のために手を取りあおう」とのメッセージとともに、ロータリー会員は行動人であり、自ら変化を起こすために手を取りあおうと呼びかけました。



また、ロータリーが世界に与えることができる最大の贈り物はその会員であり、会員増強に最大の重点を置くことを表明され、会員増強と活性化に向け、革新・継続性・パートナーシップを不可欠な3つの柱とし、その行動の基本には、ロータリーを活性化し新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための「行動の呼びかけ」があることを強調されたとのことでした。

革新、継続性、パートナーシップについてさらに詳しい説明と、会員増強、団結と希望などのキーワードについても触れられました。

また、国際協議会での様子を写真を交えて報告いただくとともに、世界各国のガバナー

との交流について、楽しいエピソードを交えながらたくさんご紹介いただきました。

点鐘 井上 智太直前会長

竹中ガバナーエレクトへのねぎらいの言葉とともに点鐘されました。



【出席報告】

会員数	78名
会場出席会員数	41名
当日出席率	53.95%

【食事状況】

食事余り	3食
------	----

※食事のムダをなくすために、出欠・食事有無の連絡にご協力をお願い致します。

	ニコニコBOX	お楽しみBOX
本日の合計金額	40,000円	4,822円
累計金額	821,900円	52,689円

第2640回 例会報告 第3週 3月26日(水) 高崎東RC・高崎セントラルRC・高崎北RC 合同親睦例会



【出席報告】

会員数	78名
会場出席会員数	39名
当日出席率	52.00%

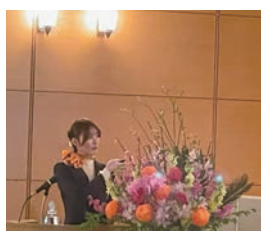
R I D 2840 ローターアクト地区年次大会

3月8日（土）桐生商工会議所ケービックホール
ロータリアン、友好地区ローターアクター
の参加のもと、160余名の出席者で盛大に開
催されました。清水大（桐生R A C）地区代
表は、「地区ローターアクトをまとめるだけ
ではなく、森末廣Gにもご支援ご協力いた
だき地区ロータリーと一緒に活動に幅を
広げることができた」と感謝の言葉で挨拶
されました。

飯塚もも子（高崎北R A C）地区幹事によ
る地区活動報告では、活動指針として①地区
内R A C間交流促進、②各クラブ組織運営基
盤強化、③ロータリークラブとの連携強化
を、A 1 1 群馬チャリティプロジェクトを通
じてローターアクター同士が親睦と奉仕を実
践しポリオへ寄付する基盤をつくること
ができた。また、R I D 2840 森G月信にロー
ターアクト掲載ページを設けていただけ
ロータリアンに向けてR A 活動の情報を発信
することができ、初めて地区R A C 合同でガ
バナー公式訪問を開催できた、等の地区活
動を総括されました。

各R A C 活動報告、F M 桐生パーソナリ
ティ山田耕司氏の記念講演、地区表彰では
高崎北R A C が会員増強賞を受賞しました。

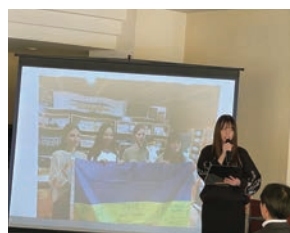
（記 幹事 内藤）



群馬大学ウクライナ学生との交流会

3月17日（月）群馬大学荒牧キャンパスに
て開催され、井上直前会長、橋谷副会長、内
藤幹事で参加しました。群馬大学ではロシア
によるウクライナへの武力侵攻により教育や
研究の継続が難しくなったウクライナの学生
を一時的に受け入れ教育環境を提供し、ウク
ライナ学生4名が就職・就学とそれぞれの道
へ歩むこととなりました。

石崎泰樹学長は「将来、日本とウクライナ
のかけはしになってほしい」と挨拶し、マリ
アさんは「3年間多くの方々の支援をいただ
き感謝しています、4月から群馬大学情報学
部1年生として入学することとなり、学業に
励み目標に向かって成長していきたい」と挨拶
。北クラブから入学祝として図書券を贈呈
しました。



次回例会予告

4月9日（水）新会員卓話 宮武 優会員